

# 施策評価シート（平成30年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	2-4	政策名	日常生活の安全確保	政策の 目指す姿	安全・安心な日常生活を送っています	施策 主管課	市民生活総合 相談センター	施策主管 課長名	島山 夕子
	施策No.	3	施策名	交通安全の推進	施策の 目指す姿	交通事故が少なくなっています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員の人員確保が難しくなっています。</li> <li>高齢者が関係する交通事故(人身)件数は横ばいで推移しています。</li> <li>交通安全教室参加者や交通安全コンクール参加者が減少傾向にあります。</li> </ul>								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

### (前年度評価時の今後の方向性)

- 交通指導員養成講座を開催し、指導員の役割等について周知を図るとともに1人でも多くの指導員を確保する。
- 効果的な交通安全教室開催のため、交通指導員の研修を行い資質の向上を図る。また、交通事故件数や高齢者事故件数が増加していることから、交通安全教室において具体的事故事例を紹介するなど、受講者が交通事故を身近に捉えることができるよう工夫する。
- 高齢者の交通事故防止や運転免許証の自主返納制度について、関係機関と連携し意識啓発や周知に継続して取り組む。

### (反映状況)

- イベントの実施元と交渉し、交通指導員の負担軽減に努めた。
- 高齢運転者の交通事故防止を図るため、高齢者運転免許返納支援事業を継続実施。
- 交通安全コンクールについて、早期から丁寧な周知に努めた。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

### (1)交通安全意識の啓発

- 交通指導員の確保
  - ・1名を委嘱
- 交通指導員による街頭啓発活動と交通安全教室の継続開催
  - ・登校時等に街頭指導を行うとともに保育園・幼稚園、小中学校の要請に応じ交通安全教室を計画的に開催
- 高齢者世帯への訪問活動による交通安全意識啓発活動
  - ・交通安全母の会と連携した訪問活動(啓発物品等の配布など)
- 高齢者の運転免許返納者への支援
  - ・高齢者運転免許返納支援事業を継続実施
- 高齢者を対象とした自転車安全運転教室の開催
  - ・高齢者の交通安全教室等の際に自転車の乗り方等について説明
- 交通安全対策協議会や地域住民組織などと連携した交通安全運動の継続実施
  - ・「一休一服運動」など各種街頭活動を実施
- 交通安全教室や交通安全コンクールの参加促進
  - ・ホームページや広報はなまきによる周知
- 交通安全推進モデル地区指定継続実施
  - ・5地域を指定

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
交通安全コンクール参加者数	交通安全推進活動への市民参加状況を示す指標です。増加を目指します。	花巻市交通安全対策協議会が主催する交通安全コンクール参加者数	人	目標値	2,860	2,870	2,880	2,550	2,600	2,650
				実績値	2,843	2,438	2,501	2,616	2,712	
交通事故(物損)件数(暦年)	交通事故の発生状況を示す指標です。減少を目指します。	花巻警察署による統計数値	件	目標値	/	/	/	1,860	1,740	1,630
				実績値	2,282	2,031	1,980	2,187	2,240	
高齢者交通事故(人身)件数(暦年)	高齢者が当事者となった交通事故の発生状況を示す指標です。減少を目指します。	岩手県警本部による統計資料	件	目標値	/	/	/	66	62	58
				実績値	70	80	79	90	88	

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>■成果指標「交通安全コンクール参加者数」・・・【達成度a】 早い段階から市ホームページなどで周知を図ったほか、老人クラブ連合会等に対しては直接依頼するなどし、参加者募集に努めたことによる。</p> <p>■成果指標「交通事故(物損)件数(暦年)」・・・【達成度c】 交通安全に係る啓発等により人身事故件数は減少しているものの、物損事故は1月～2月に件数が多くなっていることから、雪等による影響が原因として考えられる。</p> <p>■成果指標「高齢者交通事故(人身)件数(暦年)」・・・【達成度c】 交通安全に係る啓発等により人身事故件数は減少しているものの、高齢化社会の進展とともに、高齢者免許人口(65歳以上)が増加している(平成28年17,593人 平成29年18,123人 平成30年18,618人)ことに起因すると思われる。</p>

### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
1	交通安全推進事業	市民生活総合相談センター	一致	直結	B
	交通指導員による街頭指導の実施(交通指導員68名 街頭指導4,504回) 交通安全教室の実施(回数 221回 参加者15,235人)、交通指導員による広報活動の実施(回数332回)				
2	高齢者運転免許返納支援事業	市民生活総合相談センター	間接・少数	直結	A
	高齢者の事故防止のため、自主的に運転免許証を返納した方にバス及びタクシーの利用料金の一部を助成する。 (運転免許証の自主返納者数(暦年)339人、事業利用者数 311人)				

### 5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) ・交通指導員の確保に努める。 ・効果的な交通安全教室の開催に努める。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか) なし</p>
---

### 6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員が高齢化しているほか、定員割れしていることから交通指導員の確保が必要である。</li> <li>交通安全教室の開催のあり方について、より効果的にするための工夫が必要である。</li> <li>高齢者の運転免許証の自主返納制度及び支援事業のさらなる周知が必要である。</li> </ul> <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員養成講座を開催し、指導員の役割等について周知を図るとともに1人でも多くの指導員を確保する。</li> <li>効果的な交通安全教室開催のため、交通指導員の研修を行い資質の向上を図る。また、交通安全教室において具体的事故事例を紹介するなど、受講者が交通事故を身近に捉えることができるよう工夫する。</li> <li>高齢者の交通事故防止や運転免許証の自主返納制度について、関係機関と連携し意識啓発や周知に継続して取り組む。</li> </ul>
---